

# HELLO!!!



◎外国語指導助手  
イングリッド・レザー  
*Ingrid Lezar*

## どっちの方法が良い？

新年、あけましておめでとうございます！

ある外国人は、日本と自分の国の違うところ全てに対して、あら探しをします。またある外国人は、日本での全てのことが他のどの国よりも良いと思っています。

私はどちらのグループにも分類されないように、それぞれのメリットを解釈するようにしています。そして多くの場合、「どっちが良いか」という問い掛けは意味がないと思います。なぜなら、時々2つの間に違いがあったとしても、そのどちらが良いかを判断するのは難しいからです。

ウェブサイトは、とても分かりやすい例です。欧米で最もよく知られている検索エンジン「Google (グーグル)」のトップ画面に入ると、まず、白いページに検索ワードを入力するためのブロックがあります。ただそれだけです。

対して、日本でも最も人気のある検索エンジン「Yahoo (ヤフー)」では、検索ワードの入力欄はたくさんの方が表示されているトップ画面の中の1つに過ぎません。

私はたびたび、至れり尽くせりの日本のウェブサイトを見つけます。1ページに私が望んだ以上の情報が載っています。私が日本語を読むのが難しいということもあ

りますが、デザインの違いもあると思います。こちらの方がいいですか？ そんなことは誰にも断言できません。利用者が使いたいと思うサイトが一番です。

別の例に、日本と欧米のプレゼンテーションの違いがあります。欧米では多くの方が、プレゼンテーションする際のスライド内の情報は、できるだけ少ない方が良く考えています。写真と短い要点だけ、または写真だけだと最高です。この考え方だと、発表者の話に耳を傾けながら写真によって言いたいことが伝わり、講演は非常に上手くいくでしょう。発表と同じ内容がスライドに書いてあったり、情報が詰め込みすぎだったりすると、同じ言葉の繰り返しで時間をとられてしまいます。

今まで私が見た日本のプレゼンテーションは、比較的文章が多いように思います。スライドと発表者の話がほとんど同じということもあります。私にとっては退屈でつまらない発表と感じますが、分かりやすく、全体像を把握できるとも言えるでしょう。

私が、日本で特に違いを感じるのは買い物、特に特定の地域やお店でのことです。

例えば、日本で大きな電気屋さんに入ると(特に大阪や東京のよ

うな大都市では)、パチンコ店の前を通った時のような音が聞こえてきます。店内の全てのステレオやテレビから、大音量で多種多様な音が襲ってきて、店員さんの掛け声や商品説明の声も、もはや騒音になっています。時々、この世の終わりの音はこんな感じなのかな、と思ったりもします。

欧米では、お店から無数の音が聞こえてくることはありません。流れていたとしても落ち着いた曲です。実家の近所のスーパーマーケットでは、ゆったりとしたサクソホンの演奏が流れています。誰も叫んだりしていませんし、歓迎もありません。もちろんお金を払うときは「こんにちは」「ありがとう」とあいさつします。手助けが必要そうなときは、「何かお手伝いしましょうか?」と聞きます。でも、それだけです。

私は、もっとリラックスできるお店の方がお客さんも入り、売り上げも伸びると思います。私はまだ日本のお店の戦略が分かっていません。誰か教えてください。

私には、日本のやり方が他のやり方より良いか悪いかを明言することはできません。それはただの違いで、他のやり方だということです。今回は、同じような論点から、日本の教育と世界の教育について語りたいと思います。